

2019年12月14日【土】午後より、滋賀ブロックにおいて滋賀ブロックセミナー「手術看護セミナー」を医療研修施設ニプロ iMEPにて開催しました。

講師には、済生会滋賀県病院 手術看護認定看護師 松下翔大先生、佐々木光隆先生をお迎えしました。

松下翔大先生には、「周術期における看護師の役割～術前からのかかわりの必要性と課題～」、佐々木光隆先生には「手術体位の基礎と応用～術中褥瘡発生危険因子のエビデンスと対策～」と題して、お話しいただきました。

参加者は42名（会員23名、非会員19名）でした。

講義は、実践がわかりやすく紹介されていました。看護師の役割として詳細に、かつ具体的な内容を話されたこともあり、明日から実践できる工夫や知識を教えてくださいました。

周術期における看護師の役割については、術前の看護師の関わりや目的、意図的な情報収集の必要性と共有の方法について、多職種連携に至るまで、幅広い視点で講義をしていただきました。

手術体位の基礎と応用では、写真を掲示しながら、丁寧に根拠を踏まえた内容でした。褥瘡対策に限らず、神経や呼吸への影響を含めたアセスメント方法についても教えてくださいました。

日々実践を重ねているからこそ伝えられる工夫や配慮が含まれた内容でした。また根拠をもって実践するためにデータを分析し、常に最新の情報を取り入れ看護に活かしていることが伝わりました。講師の先生方の熱意も含めて今回、学んだ事を少しでも、現場に活かさせていただけると幸いです。

